

学校法人鈴木学園  
令和5年度 自己点検自己評価

実施日：令和6年2月17日

学校名：中央歯科衛生士調理製菓専門学校  
調理製菓総合学科

1 学校(学科) の教育目標

・調理・製菓の仕事を通して社会に貢献できる人材の育成

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・入学者の100%の定員達成。退学者を5%以下にする。  
・学生の満足度の向上。学園のブランドの構築。

1. 教育理念・目標			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例
1	1	中項目 理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。 職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)			
1	1	1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	4	HP・学生便覧・クレド
1	1	2 学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	HP・パンフレット・学生便覧・保護者会 新入生オリエンテーション
1	1	3 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	HP・学生便覧・クレド・教務室掲示
1	1	4 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	HP・パンフレット・募集要項・教育課程編成委員会 学校関係者評価委員会
1	1	5 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	SG	4	クレド・クレド浸透度調査アンケート
1	2	中項目 教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)			
1	2	1 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者とそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	HP・学生便覧・教育課程編成委員会議事録 カリキュラムマップ
1	2	2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会議事録
1	2	3 学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	HP・学生便覧・企業講話・ディプロマポリシー

①課題

学内だけではなく企業側にも積極的に教育理念等を伝えていく必要がある。

②今後の改善方策

企業講話だけでなく求人への依頼や挨拶などで企業の方が来校されたときに、学校説明だけではなく教育理念などもしっかりと伝えていく。教授の先生方にも確認のためにも理念等を伝えていく。

③特記事項

2 学校運営			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例	
2	1	中項目 運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)				
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	事業計画書・中期計画
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	事業計画書・中期計画・教職員研修会資料
2	1	3	BSCは適切に活用されているか。	SG	4	BSC
2	2	中項目 事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)				
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	事業計画書・教職員研修会資料
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	学園行事予定表・学校年間スケジュール表・学則等(授業期間)、外部実習等の履修指導等のガイダンス資料
2	3	中項目 運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)				
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	寄附行為・理事会・評議員会議事録・理事会評議員会名簿等
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	職務権限規程
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	組織図
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	B	4	年間行事予定表・各会議議事録
2	3	5	出退勤管理簿があるか	A	4	出勤簿
2	3	6	教職員の健康診断がされているか	A	4	就業規則・健康診断の案内
2	3	7	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	点検報告書
2	4	中項目 教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか)				
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	教職員データベース
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか。または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか。	A	4	HP・求人サイト・各研修資料
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	2	
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	学科会議議事録・各種委員会室制度・各WG
2	4	5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	全体研修・管理職研修・新入職員研修学会参加等・研修計画書
2	4	6	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取り組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	4	研修報告書・FD会議記録等

2	4	7	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	3	BSC個人目標・評価コメント
2	4	8	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	研修計画書・研修報告書
2	4	9	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	3	研修計画書
2	4	10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	3	各授業シラバス
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)			
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	就業規則・育児・介護休業規程 定年退職者再雇用制度規程・在宅勤務規程
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	給与規定・旅費規程・通勤手当支給規程 退職金支給規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	人材開発運用規定・給与規程
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	就業規則
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)			
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか (情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	2	

### ①課題

- ・各教員の評価体制が不十分。
- ・教員面接の時間が少ない。
- ・非常勤講師との話し合いは定期的ではない。
- ・資料や届け出など紙媒体での部分が多くある。

### ②今後の改善方策

- ・評価表を作成し各教員の授業を互いに見て、評価を行いフィードバックを行う。
- ・教授のシラバスなどはデータで送る。学生の規程などは常に閲覧できるようにし、紙での冊子をやめる。

### ③特記事項

- ・出勤簿や振り替え休日の届け出も変更してはどうか。

3 教育活動			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例	
3	1	中項目 目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)				
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか	A	4	CP・HP・学生便覧・パンフレット 教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	カリキュラムマップ・カリキュラム・学生便覧
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	DP・HP・パンフレット・教育課程編成委員会議事録
3	2	中項目 教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)				
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	カリキュラムマップ・カリキュラム・学生便覧 シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4	シラバス
3	2	3	各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	コマシラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	4	シラバス・講義記録・授業アンケート
3	2	5	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	4	授業アンケート・授業アンケート分析会報告書
3	2	6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	授業アンケート
3	2	7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	4	授業アンケート・学科アンケート・卒業生アンケート
3	2	8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立っているか	B	4	授業アンケート
3	2	9	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	4	教育課程編成委員会
3	2	10	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	教育課程編成委員会
3	2	11	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	教育課程編成委員会

3	2	12	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	4	現場実習・インターンシップ日誌
3	2	13	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	OB実習・OB講話・料理長講話・法人契約書教務日誌
3	2	14	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	B	4	実習承諾書・実習報告書・実習先一覧
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)			
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	学則・学生便覧・HP(情報公開)
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	学生便覧・保護者説明会資料
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	学生便覧・進級判定会議議事録 卒業判定会議議事録
3	3	4	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	実習記録・実習連絡票 インターンシップ評価表
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)			
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	4	シラバス・成績表・成績証明書
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)			
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	新入生研修計画書・シラバス・キャリア教育に関する教育計画書・キャリアデザイン・ビジネス論・シラバス
3	5	2	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	3	出張講座資料

### ①課題

- ・行事やイベントに対しても学生の取り組む意欲に差がある。
- ・高校側から直接の授業依頼が少ない。

### ②今後の改善方策

- ・カリキュラムマップの掲示や、マンダラチャートの作成で、なぜこれをするのかを明確にする。
- ・グルメピックなど2年次に参加するものを1年次から説明し、意識付けする。
- ・高校の出張料理講習依頼を受けるために家庭科の先生と繋がりを作る。三島市の家庭科教員講習を打診する。

### ③特記事項

4 学修成果・教育成果			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例	
4	1	中項目 学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)				
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	成績表・成績証明書
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	B	4	成績評価の基準・方法・シラバス
4	2	中項目 就職率(就職率の向上が図られているか)				
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	4	キャリア教育・面接指導・教務日誌
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	4	個別面談記録・就職活動申請書
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	内定報告書・就職活動報告書
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	B	4	パンフレット・HP
4	3	中項目 資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)				
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	3	試験合格者一覧
4	3	2	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	SG	3	試験合格者一覧
4	3	3	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	SG	3	試験勉強計画表
4	3	4	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	BSC
4	3	5	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	BSC・学科会議議事録・教育課程編成委員会議事録 研修報告書
4	3	6	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	3	試験合格者一覧
4	3	7	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	B	3	試験合格者一覧
4	4	中項目 社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)				
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	2	

### ①課題

- ・就職率はよいが離職率が高い。
- ・1回目の国試で落ちてしまうと再チャレンジをしない学生がいる。
- ・卒業後の状況が把握できていない。

### ②今後の改善方策

- ・卒業生が来校の際に同期の情報を聞く。離職率の高い就職先には斡旋を検討する。
- ・OB会などを企画し卒業生や企業の情報を集める。精神的な忍耐力を育むためにも、レストラン実習などで現場に近いやり方をしていく。
- ・資格取得は再挑戦してでも価値があることを伝えていく。1回目の合格率を上げる。

### ③特記事項

5 学生支援		カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例		
5	1	中項目 修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)				
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	個別面談記録・奨学金相談・分納面談
5	2	中項目 就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)				
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	4	就職説明会の開催・面接指導の実施 保護者説明会資料
5	3	中項目 学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)				
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	4	学生便覧・個別面談記録
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	個別面談記録
5	4	中項目 学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)				
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	募集要項・オープンキャンパスでの奨学金説明会 個別相談の実施
5	4	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	4	健康診断案内・年間行事予定表
5	4	3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	2	
5	4	4	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	4	家賃サポートの案内 (オープンキャンパス・入学許可者への案内送付)
5	5	中項目 中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)				
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	4	全体研修における退学率報告 学科会議議事録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	BSC
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	BSC
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	HP
5	5	5	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	SG	4	面談記録簿・退学者一覧
5	6	中項目 保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)				
5	6	1	保護者と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	保護者面談記録・保護者説明会資料
5	6	2	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	保護者面談記録・保護者説明会資料
5	7	中項目 卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)				
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	4	HP(キャリアサポートサイト)
5	7	2	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	2	
5	7	3	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	2	

①課題

- ・課外活動は積極的ではない。
- ・卒業生に対しての同窓会や研修等を考えていく必要がある。
- ・退学率の目標は達成したが、更に減らしていきたい。

②今後の改善方策

- ・同窓会を実施(まずは1年前の卒業生から)。卒業生のGメールを活用し、定期的に情報を送る。
- ・退学者減少対策は、相談しやすい状況を作る。グループ面談を行う。

③特記事項

6 教育環境			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例	
6	1	中項目 施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)				
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	4	学生便覧・学校設置認可申請書・教室配置図
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	3	固定資産台帳
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	3	固定資産台帳
6	1	4	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	学生便覧
6	1	5	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	清掃チェック表
6	1	6	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	各種点検報告書・修繕報告書
6	2	中項目 学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)				
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	実習の手引き
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	実習の手引き
6	3	中項目 防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)				
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	携帯防災マニュアル(教職員用・学生用)
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	4	点検報告書
6	3	3	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	防災訓練実施計画書・防災訓練実施報告書
6	3	4	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	危機管理マニュアル

①課題

- ・学生の図書の利用が少ない。

②今後の改善方策

- ・図書の整理、見直しを行う。レストラン実習の献立作成だけでなく、外販やイベントのメニュー作成の際に図書の利用を促す。

③特記事項

7 学生の受入れ募集			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例	
7	1	中項目 学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。 社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)				
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	HP・パンフレット・OC説明資料・ガイダンス資料 募集要項
7	1	2	オープンキャンパスの時期、回数、内容は適切か。	SG	4	オープンキャンパスの歩留まり表
7	1	3	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	4	HP・募集要項
7	1	4	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	パンフレット・HP
7	1	5	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	パンフレット・募集要項
7	1	6	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	校務分掌・HP(公式LINE)
7	1	7	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	4	OC説明資料・パンフレット・募集要項
7	1	8	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	B	4	入学前教育の案内・実施
7	2	中項目 入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)				
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	4	HP・募集要項
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	4	入試判定基準・入試判定会議議事録
7	3	中項目 学納金(学納金は妥当なものとなっているか)				
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	HP・募集要項・事業収支計算書 他学園学納金等比較
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	HP・募集要項

### ①課題

・OCの参加者は増加しているが、歩留まりは妥当であるか。

### ②今後の改善方策

・「食べられるから、とりあえず来て」などという誘い方はしない。OCでは保護者も巻き込んでアピールしていく。  
・保護者の参加も増やす方策を考える。

### ③特記事項

8 教育の内部質保証システム			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例
8	1	中項目 関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)			
8	1	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	4	専修学校実態調査
8	1	2 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	内部規定全般
8	1	3 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	ハラスメント防止規定・危機管理規定
8	2	中項目 個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)			
8	2	1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	3	情報公開規程・危機管理規定
8	2	2 個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	情報公開規程・危機管理規定
8	2	3 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	情報公開規程・危機管理規定
8	3	中項目 学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)			
8	3	1 学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	自己点検・評価報告書
8	3	2 自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	4	自己点検・評価報告書
8	3	3 自己点検・評価の組織があるか	B	4	組織図(学校監査室)
8	3	4 学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
8	4	中項目 改革・改善(各学科の教育目標、育人人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)			
8	4	1 自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	教職員研修・セクション長会議議事録
8	4	2 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	2	
8	4	3 自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
8	4	4 自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
8	4	5 学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
8	4	6 学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
8	5	中項目 教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)			
8	5	1 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	HP
8	5	2 自己評価結果を公開しているか	A	4	HP
8	5	3 学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	HP

①課題

・卒業後のキャリア形成から教育活動への計画を考えていく。

②今後の改善方策

・OB講話(OB実習)での話しを教員でまとめ、学生達にわかりやすく活かせるように伝える。

③特記事項

9 財務		カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例		
9	1	中項目 財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)				
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	貸借対照表・事業収支計算書・資金収支計算書 財産目録
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	予算書
9	2	中項目 予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)				
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	予算書・理事会・評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	予算執行伺書
9	3	中項目 監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)				
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	独立監査人の監査報告書・理事会 評議員会議事録
9	4	中項目 財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)				
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	HP情報公開(各校別財務の概要)
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	4	HP情報公開(各校別財務の概要)

①課題

・今まで以上に経費を意識する必要がある。

②今後の改善方策

・食材の価格の見直し。職員のコスト削減の意識だけではなく、学生にも意識付けしていく。

③特記事項

10 社会貢献・地域貢献			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)		
10	1	1	A	4	利用記録
10	1	2	A	4	利用記録
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)		
10	2	1	A	3	案内書

### ①課題

・東部でのボランティア活動への参加

### ②今後の改善方策

・三島市の廃棄物削減の料理講習などに学生スタッフも参加してもいい、社会貢献の意識を高める。

### ③特記事項